

京北地域小中一貫教育校検討協議会 第1回施設整備検討部会摘録

- 日 時 平成28年9月1日(木) 19:30～21:00
- 場 所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 施設整備検討部会メンバー37名(3名欠席), 事務局及び関係職員18名
委託先設計会社8名

□議事要旨

1 整備方針案について

基本的な整備方針案について、教育委員会から現況平面図を基に説明を行った。

- 周山中学校と元周山小学校の敷地を合わせた約 66,000 m²を小中一貫教育校の整備候補地として検討する。
- 生徒の学習環境を維持しつつ整備を進めるため、現サブグラウンドに新校舎を建築し、新たにグラウンドを整備する。
- 法面の安全確保のため、元周山小学校校舎・体育館を除却し擁壁を造る。
- 狭隘な周山中学校敷地進入口(接道部分)を拡幅し、進入しやすいように検討する。
- 接道レベルから新校舎昇降口までの動線について、ストレッチャー可能なエレベーター設置を検討する。

2 グループワーク

4グループに分かれて、「京北らしい学校とは」をテーマに、新しい学校への様々な夢や希望を出し合い協議。その後、各グループからPTA会長が代表してグループのまとめ意見を発表。各グループの意見のまとめは、別紙(第1回ワークショップ意見)のとおり。

いただいた意見を教育委員会で整理・検討し、次回以降の施設整備検討部会で具体的な校舎等の検討案をお示しする。

<各グループからの発表概要>

A 班	小中全員が一緒に食べられるランチルーム、小中交流できる場所の整備/清潔なトイレの整備/小・中別々のプールを設置。冬場はスケートリンクに。室内プールも欲しい/全天候型や芝生のグラウンド、室内練習場の整備/通学バスのロータリーの整備/雨がかからない渡り廊下、地下道の整備/エスカレーターや大階段の整備/ソーラー発電、蓄電設備の設置/災害時の宿泊室・浴場、防災設備の充実/ヘリポートを設置/天文台の設置
B 班	住民が気楽に利用できる学校にしてほしい/防災設備のある体育館の整備/雪対策がされた屋根が必要/広いランチルームの整備/小・中の校舎を分けてほしい/校舎からすぐにグラウンドに出られるように。職員室からグラウンドの様子が見えるような配置/芝生グラウンドを整備/日当たりのよい中庭が欲しい/夜空の見える教室。南向きの教室配置/木材を多く使用したぬくもりのある校舎/床暖房、ペレットストーブの設置/タブレットなどICTの充実/屋内プールの整備/グラウンドまでエスカレーターを設置/安全なバスロータリーの整備/元周山小にモータープールを設置

C 班	木のぬくもり，風通しの良い校舎。木造遊具の設置／インターネット環境の充実／敷地内にバスロータリーの整備／広い駐車スペースの整備。歩車道分離し安全に配慮が必要／屋上・壁面緑化／夏は風が通り，冬は暖炉で温かい広いランチルームの整備。地元産食材を使った給食の実施／地域住民も利用できる図書館の整備／避難所施設として広い廊下，エレベータ，食料等の備蓄倉庫の整備／小中それぞれが使えるようメインとサブのグラウンド・体育館を整備／小中学生の体格等に配慮したトイレの整備
D 班	中庭に小川，敷地内に田んぼを／災害用トイレ，自家発電の整備／京北産木材を使用した木造校舎，校舎は2階建てを希望／様々なスポーツができるグラウンド，全天候型ドームのグラウンドの整備／オープンスペースの設置／駐車スペースの確保／屋上に天体観測ができる施設の設置／ヘリポートの設置／様々なスポーツができる体育館に。体育館は2つほしい／コンピュータールームだけではなく，普通教室でもパソコンが使えるように／京北産食材の給食の実施。全校生と一緒に食べられるランチルームの整備

3 今後の開催予定について

今後の開催予定について，教育委員会から説明を行った。

- 第2回は10月中旬頃に開催し，校舎配置等について検討する。
- 第3回は11月，第4回は12月に開催し，基本計画案をまとめる予定。